



尾山台小だより

1月号

学校教育目標【明るい子 考える子 たくましい子】

～確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成～



〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

校長 熊坂 由美子

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、年が改まったタイミングで、一念発起して何かを始めようとした経験のある方は多いのではないのでしょうか。そして、決意を長続きできることもあれば、そうでないこともある、、、私は、後者を何度も経験しているのですが、最近読んだ雑誌に『『三日坊主』も100回繰り返せば立派な習慣になる』と、脳科学者の茂木健一郎氏が書いていました。「長続きしなかったとしても、再び始めればいい。サボってしまっても後悔したり、ダメな自分になんかしたりする自省もある程度必要だが、行きすぎは自己肯定感を奪ってしまうので、あっけらかんとそのような自分を認めて、決意を再起動するくらいのおおらかさと柔軟さが必要だ」というのです。なるほど、三日坊主になったとしても、何度でも再開しているうちに習慣になるかもしれないと思えば、挫折して計画倒れで終わるより、何倍もよさそうだと思います。

学校で、子供たちは、毎日、さまざまな新しいことを学び、新しい課題に挑戦しています。そして、今度はこれができるようになりたい、こうしたい、と新たな目標をもつこともたびたびあります。その時その時を、子供たちは真剣に思考し、前向きな気持ちで決意をしていますが、それが長続きするかというと、なかなか難しい。子供なので、自分の実力を客観視できないまま目標を立てることも多いため、大人以上に計画倒れということもあるでしょう。3学期、学年のまとめの学期。子供たちは、また新たな目標を立て、早速今日から始めているかもしれません。その目標を立てた時は、真剣に「そうしたい!」と思っけていても、長続きしないかもしれません。周囲の大人は、「なんだ、もうやめてしまったのか」と叱ったり嘆いたりするのではなく、「ちょっとサボっちゃたね。また、明日から始めてみたら?」とおおらかに励ましてあげることが大事なのかもしれません。

本校では、「自由進度学習」という学習スタイルを取り入れ始めました。教師は、一単元の目標（ゴール）や充てられる学習時間、学習場所や学習方法を子供たちに示しますが、学習の進め方を各自が選択して決めていくというものです。最初は自分の計画と実際の進捗とがかけ離れることが多いのですが、進めていくうちに次第と実態に合った計画が立てられるようになっていきます。「個別最適な学び」である、この学習スタイルを取り入れることで、学習に対する意欲・自己肯定感・自分を客観視する力（メタ認知）などを伸ばすことができます。今年度は、各学年、1回程度の取組となりますが、体験した子供たちの感想は概ね好評です。「自分の好きなペースで進められるから楽しい」「習っていないことを自分で勉強していくのは難しかったけど、正解したら嬉しかった」「発展問題が楽しかった」などです。

三日坊主になっても挫けず再開し、先生や親から指示されなくても自分で課題を見付け取り組める、そんな子供たちを育成していきたいと考えています。